

全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

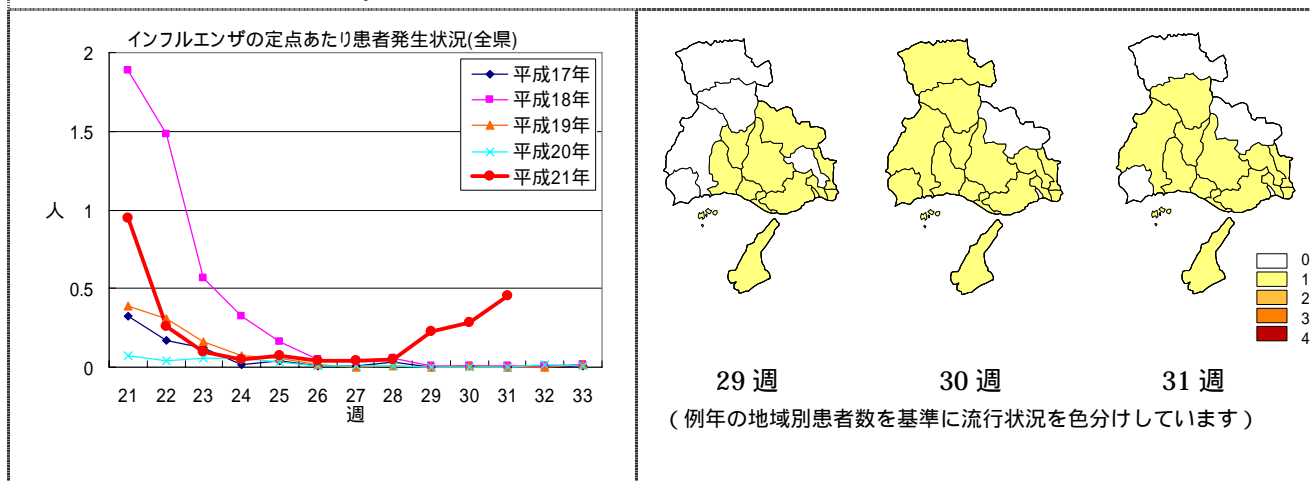
## インフルエンザ (新型インフルエンザ) 情報

新型インフルエンザ患者の把握は、全数把握から、学校、社会福祉施設等での集団的な発生の把握を中心とする方式に 7 月 24 日から全国的に変わりました。これにより、新型インフルエンザの PCR 検査は、原則として発生が疑われる集団の一部患者に対してのみ行われることになりました。PCR で陽性となった場合は確定患者として届出され、確定患者が出ている集団のその他の患者は疑似症患者として届出されます。第 31 週の県内の届出数は、15 施設において、確定患者数 31 名、疑似症患者数 17 名となっています。詳しくは兵庫県のホームページの新型インフルエンザ記者発表資料をご覧ください。

<http://web.pref.hyogo.jp/contents/000132875.pdf>

従来からのインフルエンザ患者数は県内 199 か所の医療定点 (内科と小児科) からの報告によるものですが、患者数の中には季節性インフルエンザと新型インフルエンザの両方の患者が含まれます。それぞれの割合については病原体定点から提供されるインフルエンザ様症状を呈する患者からの検体の PCR 検査結果から推定することになりますが、現在のところ検体数が少ないため推定には至っていません。とはいえ、全国的に検出されるインフルエンザウイルスのほとんどが新型インフルエンザであることや、当研究センターに搬入される検体における新型インフルエンザ陽性率の高さから (第 31 週は 7 検体中 7 検体陽性、陽性率 100%)、現在定点から報告されるインフルエンザ患者の多くは新型インフルエンザであるとの印象を持っています。

今週の定点あたり患者数は **0.45 人** (先週 0.28 人) と**さらに増加しました**。季節性インフルエンザ場合の流行開始の目安とされている定点あたり 1.0 人に近づいています。患者の年齢分布は 10 歳未満 42%、10 歳代 42%、20 歳以上 17%となっています。



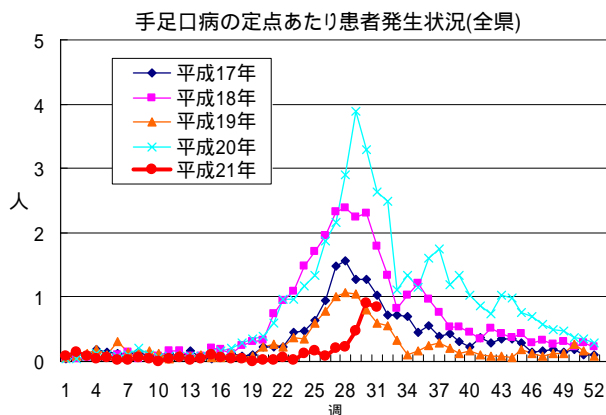
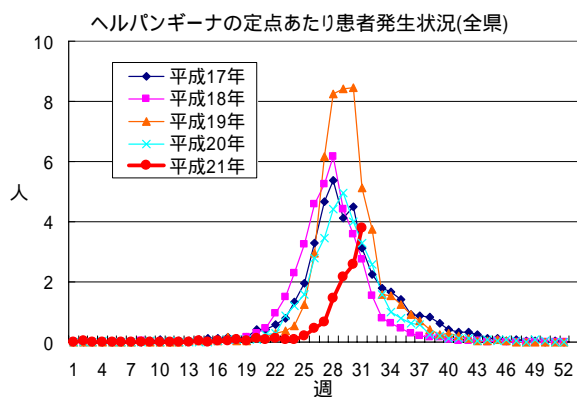
新型インフルエンザに関する情報は次のホームページ (HP) でご覧ください。

- 厚生労働省のHP (<http://www.mhlw.go.jp/>)
- 厚生労働省：新型インフルエンザ最新情報  
(<http://www.mhlw.go.jp/kinkyu/kenkou/influenza/index.html>)
- 国立感染症研究所感染症情報センターのHP (<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)
- 兵庫県のHP：新型インフルエンザ対策について  
(<http://web.pref.hyogo.jp/ac02/influenza.html>)

定点把握感染症（指定された医療機関から報告を求める感染症です）

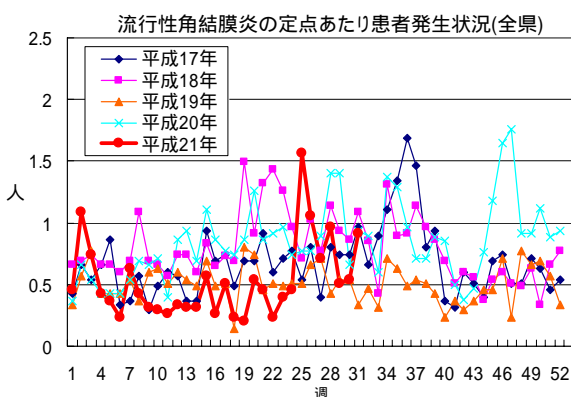
ヘルパンギーナ と手足口病

夏の代表的な小児感染症にはヘルパンギーナ、手足口病、咽頭結膜熱などがあります。立ち上がりの遅かったヘルパンギーナですが、今週の定点あたり患者数は **3.81 人**（先週 2.57 人）と増加して、定点把握感染症の患者数ランキングで感染性胃腸炎を抜いて第 1 位になりました。手足口病の定点あたり患者数は、今週は **0.84 人**（先週 0.91 人）とやや減少しました。



流行性角結膜炎

今週の定点あたり患者数は **0.91 人**（先週 0.54 人）と増加しました。尼崎市からの報告が多くなっています。



定点あたり患者数の上位 10 位の疾病

	疾病名	定点あたり患者数		増減		疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1位	ヘルパンギーナ	3.81	2.57	+1.24	6位	水痘	0.80	0.69	+0.11
2位	感染性胃腸炎	3.24	3.43	-0.19	7位	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	0.49	0.57	-0.08
3位	流行性角結膜炎	0.91	0.54	+0.37	8位	流行性耳下腺炎	0.47	0.37	+0.10
4位	突発性発しん	0.85	0.60	+0.25	9位	インフルエンザ	0.45	0.28	+0.17
5位	手足口病	0.84	0.91	-0.07	10位	咽頭結膜熱	0.22	0.20	+0.02

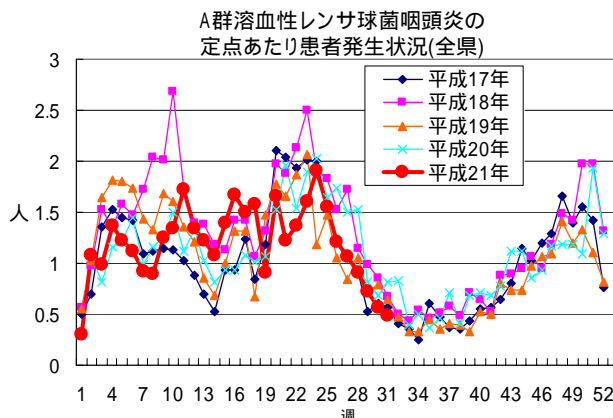
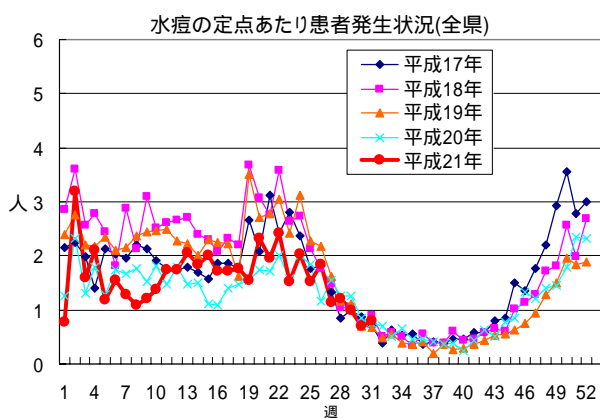
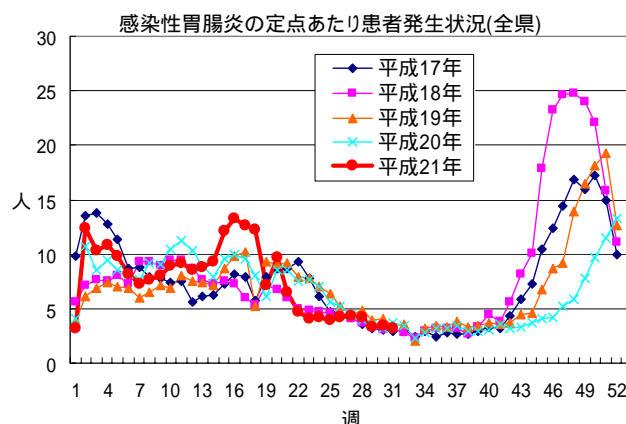
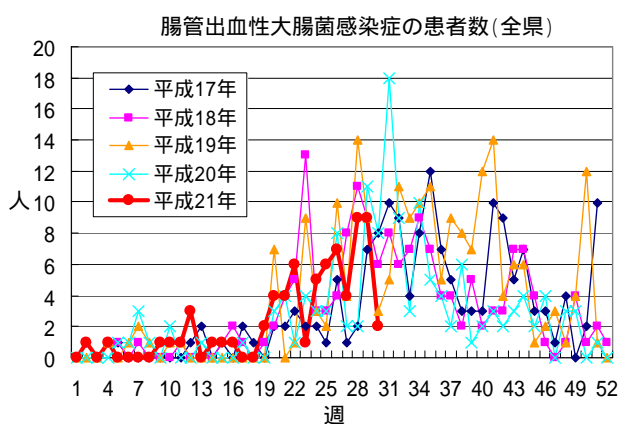
**全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）**

1 類感染症	報告はありません。
2 類感染症	<b>結核 31名</b> （神戸市 11名、尼崎市 5名、姫路市 3名、西宮市 4名、明石保健所管内 2名、加古川保健所管内 5名、加東保健所管内 1名）
3 類感染症	<b>腸管出血性大腸菌感染症 2名</b> （神戸市；0157 VT1+VT2+、赤穂保健所管内；026 VT1+）
4 類感染症	<b>レジオネラ症 1名</b> （明石保健所管内）
5 類感染症	<b>破傷風 1名</b> （尼崎市）
追加報告	<b>結核 4名</b> （尼崎市 2名、姫路市 1名、明石保健所管内 1名）、 <b>腸管出血性大腸菌感染症 2名</b> （姫路市；0157 VT2+、芦屋保健所管内；0157 VT1+VT2+）、 <b>レジオネラ症 1名</b> （西宮市）、 <b>麻しん 1名</b> （加東保健所管内）

**検査情報（兵庫県立健康生活科学研究所：健康科学研究センター）**

姫路市内の医療機関を受診した**発疹患者 1名**（11歳）及び**咽頭結膜熱患者 1名**（5歳）から**アデノウイルス 1型**が、**滲出性扁桃炎患者 2名**（0歳、2歳）から**アデノウイルス 2型**が、**咽頭結膜熱患者 1名**（3歳）から**アデノウイルス 3型**が、**咽頭結膜熱患者 2名**（いずれも4歳）から**アデノウイルス 4型**が、**滲出性扁桃炎患者 1名**（1歳）から**アデノウイルス 5型**がそれぞれ分離されました。

**目で見る動向（県内）**



この週報は兵庫県立健康生活科学研究所：健康科学研究センターホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報(IDWR)がダウンロードできます。